

2015年3月期 第2四半期 決算説明会

2014年11月6日

NTN株式会社

- I. 「復活2014」の進捗
- II. 新たな成長に向けて
- III. 2015年3月期第2四半期決算と見通し
- IV. 質疑応答

- 本資料、プレゼンテーションおよび引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来の業績見通し、事業戦略が含まれており、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。
- これらの将来的予測に基づく記載や発言は将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が製品に対する需要変動、為替変動、金利変動、偶発債務などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

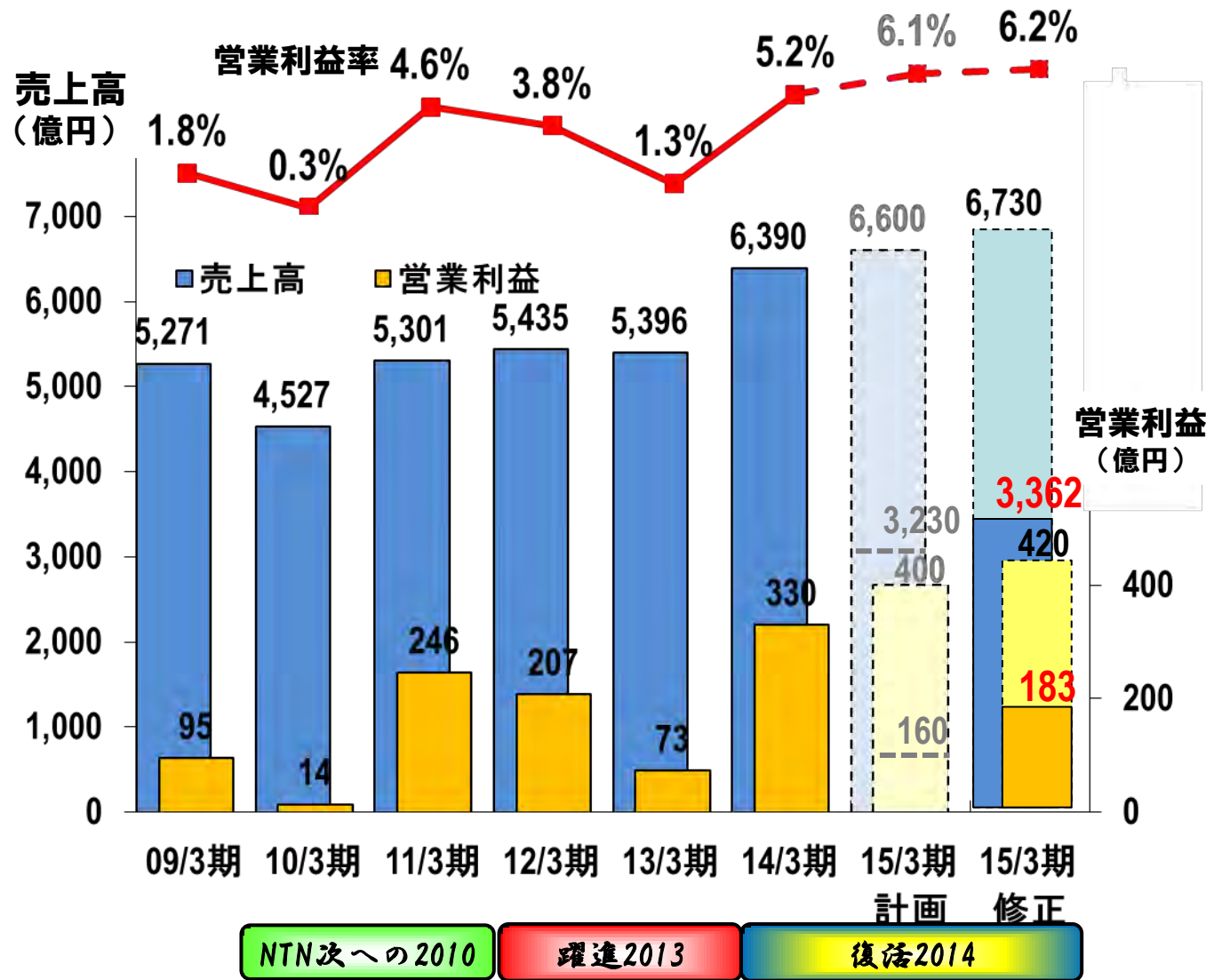
I. 「復活2014」の進捗

II. 新たな成長に向けて

III. 2015年3月期第2四半期決算と見通し

IV. 質疑応答

連結業績の推移 (上期実績と通期見通し) For New Technology Network **NTN**



15/3上期(実績)
 売上高: **3,362億円**
 営業利益: **183億円**
 営業利益率: **5.4%**
 当期利益: **93億円**
 上期配当: **2.5円**

15/3通期(見通し)
 売上高: **6,600億円**
 → **6,730億円**
 営業利益: **400億円**
 → **420億円**
 営業利益率: **6.1%**
 → **6.2%**
 当期利益: **200億円**
 年間配当: **5円**

1. 緊急対策

- **人件費・固定費削減**
→13/3下期に計画を前倒して実施
- **設備投資の抑制**
→将来の成長分を追加
- **棚卸資産の削減**
→棚卸資産回転率で計画達成見込み

2. 経営資源の集中

- **補修向け販売拡大**
- **産業機械事業のグローバル強化**
- **自動車事業の収益改善**
→7~8ページ

3. 構造改革

- **人件費構造の改革**
→早期退職実施、補修事業の体制強化
- **海外生産の加速**
→海外への生産移管を推進
→中国、メキシコに新会社を設立
- **事業の選択**
→物流子会社を設立
→精機商品事業の一部撤退

4. 新商品・新事業の拡大

- **モジュール・システム商品の開発強化**
- **EVシステム商品の事業本格化**
- **複合材料商品の開発と市場展開**
→9ページ

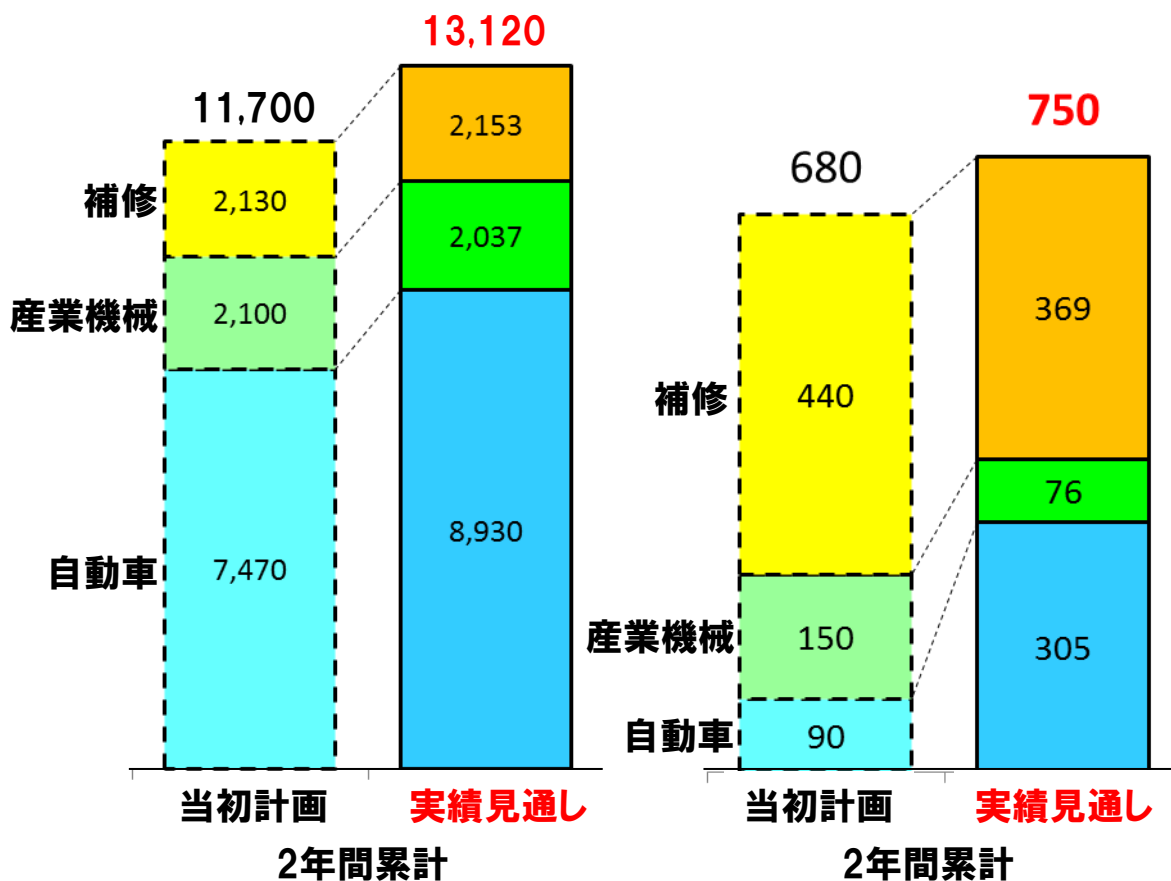
「復活2014」の達成見通し

「復活2014」当初計画と最新見通し（億円）

売上高

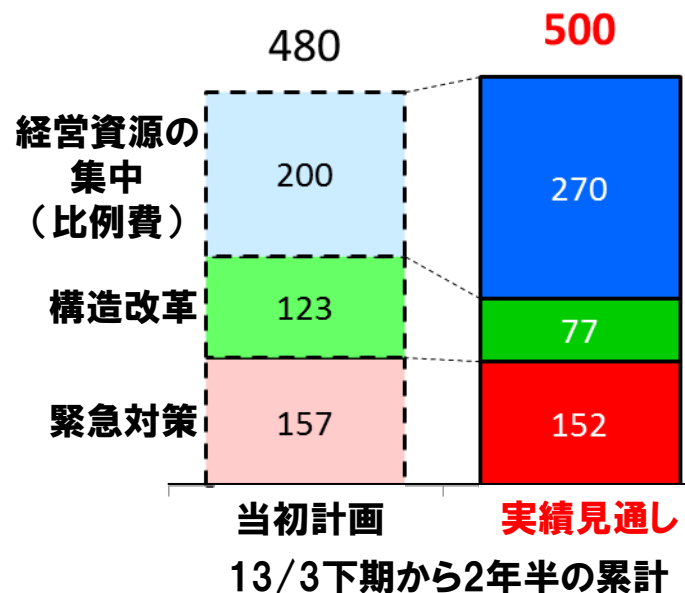
営業利益

売上高、営業利益ともに
自動車向けが計画を大きく上回る



現地調達などの比例費削減が
計画を大きく上回る

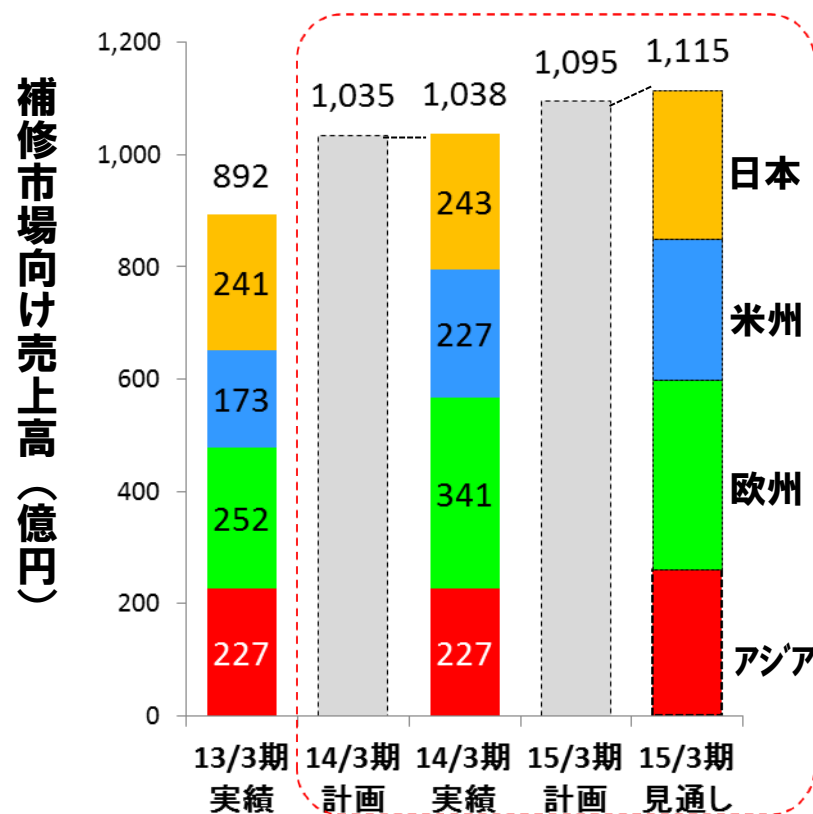
営業利益への効果額



「経営資源の集中」の進捗-1

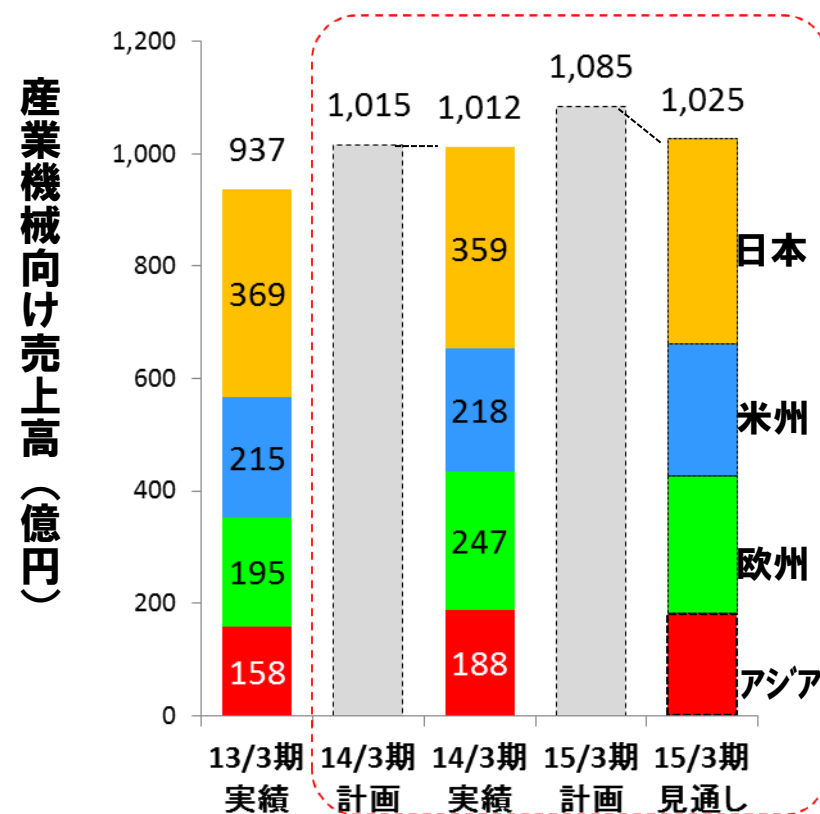
① 補修向け販売拡大

- アフターマーケット事業本部を設立、200名体制へ
- 代理店と協業でエンドユーザー開拓強化
- テクニカルサービスカーによるキャラバン活動を展開
- 北米での自動車オートパーツの品揃え拡大



② 産業機械事業の強化

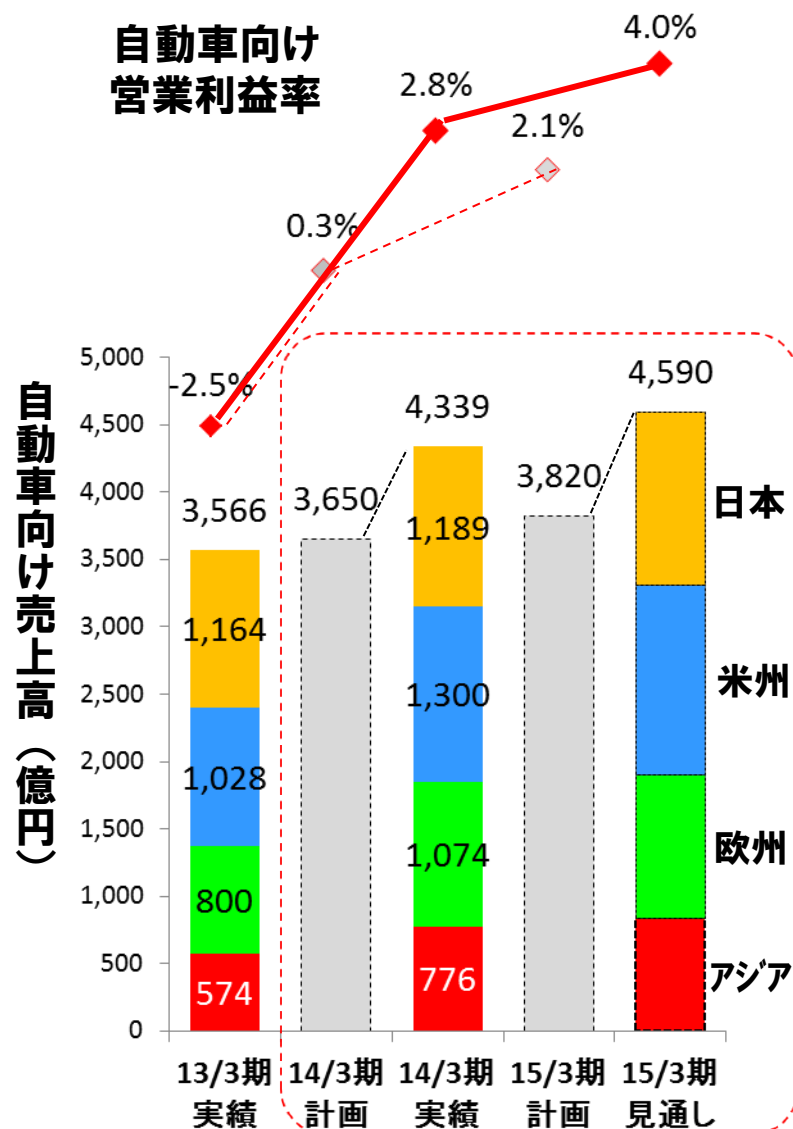
- 航空機、風力発電、鉄道車両で新規受注獲得
- 工作機やロボット向け需要拡大
- 建設機械、鉱山機械の需要回復遅れ



「経営資源の集中」の進捗-2

③ 自動車事業の収益改善

- 現地鋼材の採用拡大
- 完成品の現地生産拡大
- 前工程品の現地調達拡大
- モジュール・システム新商品の市場投入
- 値引き抑制
- 低収益品の売価改善



「新商品・新事業の拡大」(主な新商品)

モジュール・システム商品の量産化

自動車向け



メカニカルクラッチユニット
2014年「超モノづくり部品大賞」受賞

電動油圧ブレーキ用
ホールねじ駆動モジュール



パラレルリンク型
高速角度制御装置



ハンディ型異常検知装置

産業機械向け



風力発電用CMS



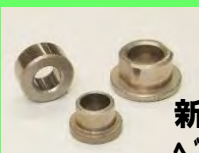
工作機械用技術計算システム



風力発電試験装置

複合材料商品の開発強化

自動車+産業機械向け



新材料
ヘアファイトCL

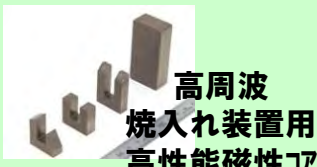


変速機用
低トルクシールリンク



焼結金属+樹脂
ハイブリットヘアファイトHP

産業機械向け



高周波
焼入れ装置用
高性能磁性コア



特殊樹脂
高負荷すべり
軸受ユニット

EVシステム商品の実証事業の加速



フランスアヌシー市



静岡県磐田市



インホイールモータシステム



三重県伊勢市



日本初の認証取得

I. 「復活2014」の進捗

II. 新たな成長に向けて

III. 2015年3月期第2四半期決算と見通し

IV. 質疑応答

次期中期経営計画の位置づけ

For New Technology Network

NTN®

10年後のNTNの姿

2025年度

- (1) 世界中の従業員に企業理念が浸透している企業
- (2) 独自の商品とサービスを有し、品質、機能で高く評価され、世界中で存在感のある企業
- (3) NTNに関わる全ての人が「NTN」ブランドに誇りを持つ企業

創業100周年

2017年度

= 2025年の姿に向けた礎づくり

次期中期経営計画

2015年度

2014年度

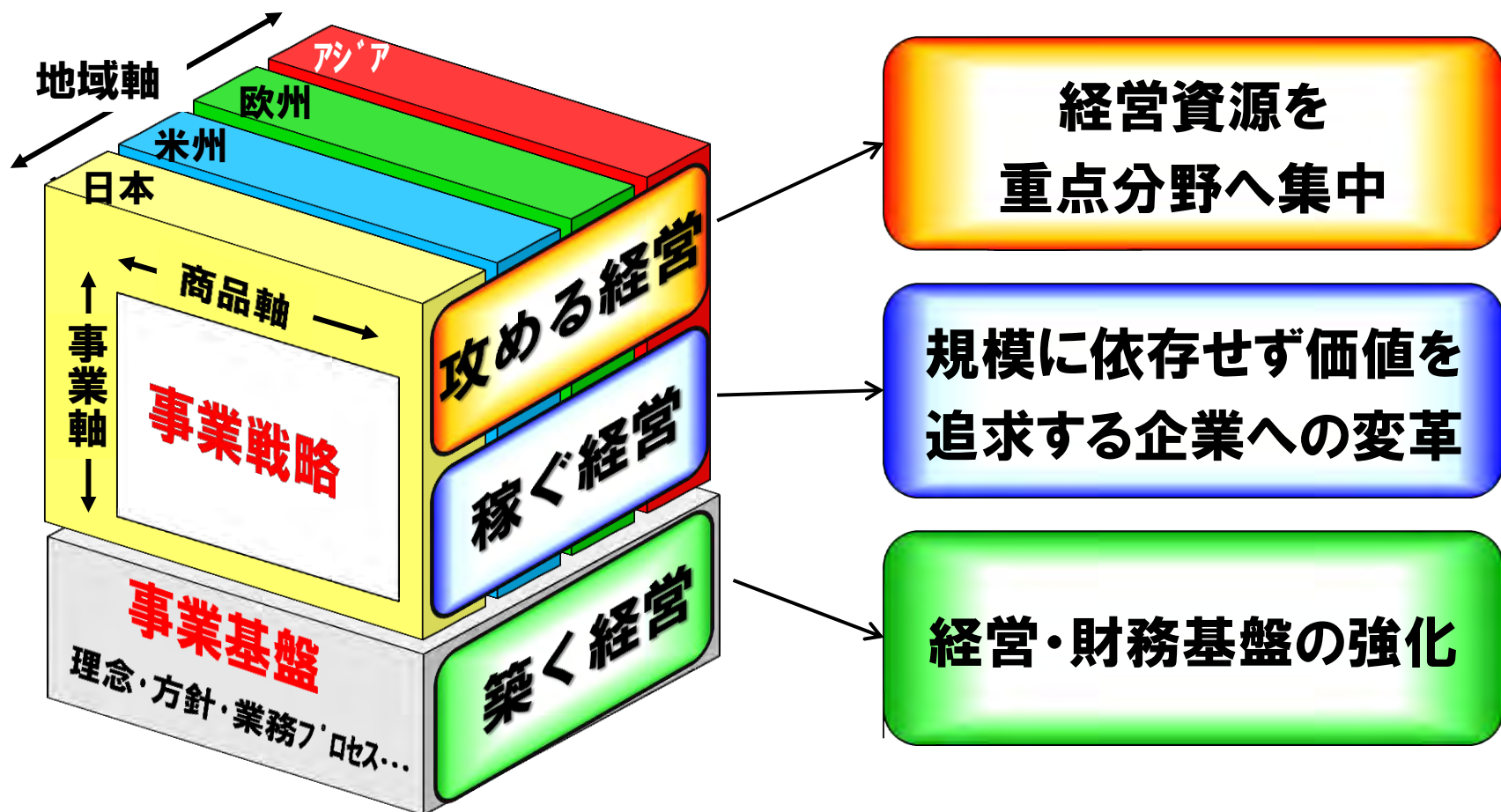
= 利益を造る企業体質への変革

「復活2014」

2013年度

次期中期経営計画の基本方針

3つの基本方針のもと、事業、商品、地域ごとの事業戦略と、事業基盤に対する重点施策を策定



次期中期経営計画の基本方針

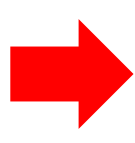
「攻める経営」

「稼ぐ経営」

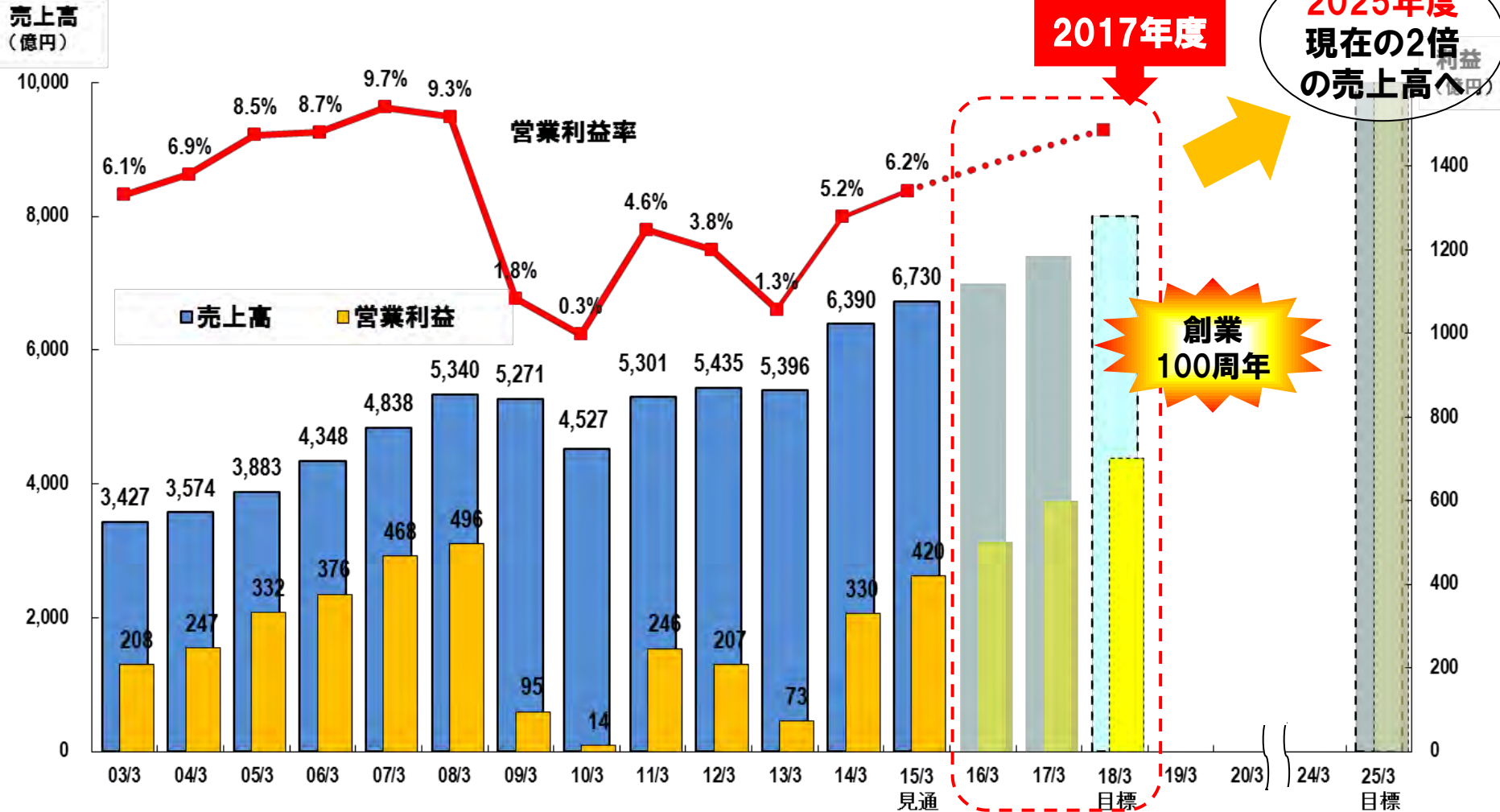
「築く経営」

1. **補修市場向け**
 - すべての商品、地域で攻める
2. **産業機械市場向け**
 - 新技術・新商品で攻める
 - 基盤商品で稼ぐ
3. **自動車市場向け**
 - モジュール/システム商品で攻める
 - アクスルやCVJで稼ぐ
4. **新領域**
 - EVや新エネルギーなどの新たな領域を最先端技術で攻める

1. **法令遵守**(コンプライアンス)をグローバルで徹底
2. **企業統治体制**(ガバナンス)の強化
3. **社会貢献活動**を通じた地域社会の活性化
4. **財務基盤**の強化

 **研究・技術開発やサービスなどのエンジニアリングをさらに強化し、お客様にとってCo-creative(共創的)なパートナー企業へ**

次期中期経営計画の目標値



NEW Plan 21
飛躍 21
創成 21
次への 2010
躍進 2013
復活 2014
次期中期経営計画

- I. 「復活2014」の進捗
- II. 新たな成長に向けて
- III. 2015年3月期第2四半期決算と見通し**
- IV. 質疑応答

Ⅲ. 2015年3月期 第2四半期決算と通期見通し

2014年11月6日

NTN株式会社

・本資料、プレゼンテーションおよび引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来の業績見通し、事業戦略が含まれており、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。

・これらの将来的予測に基づく記載や発言は将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が製品に対する需要変動、為替変動、金利変動、偶発債務などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

- ★2015年3月期 第2四半期決算のポイント
- 1. 連結損益
- 2. 地域別売上高
- 3. 事業形態別売上高・営業利益
- 4. 事業形態別業績（四半期推移）
- 5. 営業利益増減
- 6. 所在地別 売上高・営業利益
 - (1) 日本・米州
 - (2) 欧州・アジア他
- 7. 棚卸資産
- 8. 有利子負債
- 9. 設備投資・減価償却費
- 10. キャッシュ・フロー

2015年3月期 上期の実績

- ◇売上高：**3,362億円**、前年同期比+291億円(+9.5%)の増収
 - ・補修市場向けは、日本、アジアを中心に増加し、同**約10%増収**
 - ・産業機械向けは、日本、米州の客先需要増加により、同**約9%増収**
 - ・自動車向けは、日本、米州、中国が増加し、同**約9%増収**
- ◇営業利益：**183億円**、前年同期比+52億円(+40%)の増益
- ◇特別損益：**△24億円**(特別利益+3億円、特別損失△27億円)
- ◇当期利益：**93億円**、前年同期比+58億円の増益

2015年3月期 通期の見通し

- ◇売上高は **6,730億円** (前回6,600億円)、
営業利益は **420億円** (同400億円)に変更
- ◇下期の特別損益は **△16億円** (同0億円)
- ◇下期の為替レートは前回から変更なし(1US\$=100円、1EURO=130円)

1. 連結損益

For New Technology Network



単位：億円

	前期('14年3月期)			今期('15年3月期)			対前期増減	
	上期実績 ①	下期実績	通期実績 ②	上期実績 ③	下期見通し	通期見通し ④	'15年3月期 上期 ③-①	'15年3月期 通期 ④-②
売上高	3,072	3,318	6,390	3,362	3,368	6,730	291	340
営業利益 (営業利益率)	130 (4.2%)	200 (6.0%)	330 (5.2%)	183 (5.4%)	237 (7.0%)	420 (6.2%)	52 (1.2%)	90 (1.0%)
経常利益	103	183	287	167	193	360	63	73
特別損益	△ 16	△ 295	△ 311	△ 24	△ 16	△ 40	△ 8	271
当期純利益	34	△ 181	△ 146	93	107	200	58	346
為替 US\$	98.9	101.5	100.2	103.0	100.0	101.5	4.2	1.3
レ-ト EURO	130.0	138.6	134.2	138.9	130.0	134.5	8.9	0.2

2. 地域別売上高

<地域別売上高>

単位：億円

	前期('14年3月期)			今期('15年3月期)			対前期増減			
	上期 実績 ①	下期 実績	通期 実績 ②	上期 実績 ③	下期 見通し	通期 見通し ④	'15年3月期上期 ③-①		'15年3月期通期 ④-②	
							量	為替	量	為替
日 本	851	940	1,791	942	973	1,915	91	0	124	0
米 州	854	892	1,746	955	940	1,895	66	35	129	20
欧 州	798	865	1,663	840	800	1,640	△ 14	56	△ 29	6
アジア他	569	621	1,190	625	655	1,280	39	17	86	4
合 計	3,072	3,318	6,390	3,362	3,368	6,730	182	108	310	30

3. 事業形態別売上高・営業利益

<事業形態別売上高>

単位：億円

	前期('14年3月期)			今期('15年3月期)		
	上期実績 ①	下期実績	通期実績 ②	上期実績 ③	下期見通し	通期見通し ④
補修	496	543	1,038	548	567	1,115
産業機械	483	529	1,012	526	499	1,025
自動車	2,093	2,246	4,339	2,289	2,301	4,590
合計	3,072	3,318	6,390	3,362	3,368	6,730

対前期増減			
'15年3月期上期 ③-①		'15年3月期通期 ④-②	
量	為替	量	為替
32	20	71	5
28	16	7	6
122	73	231	19
182	108	310	30

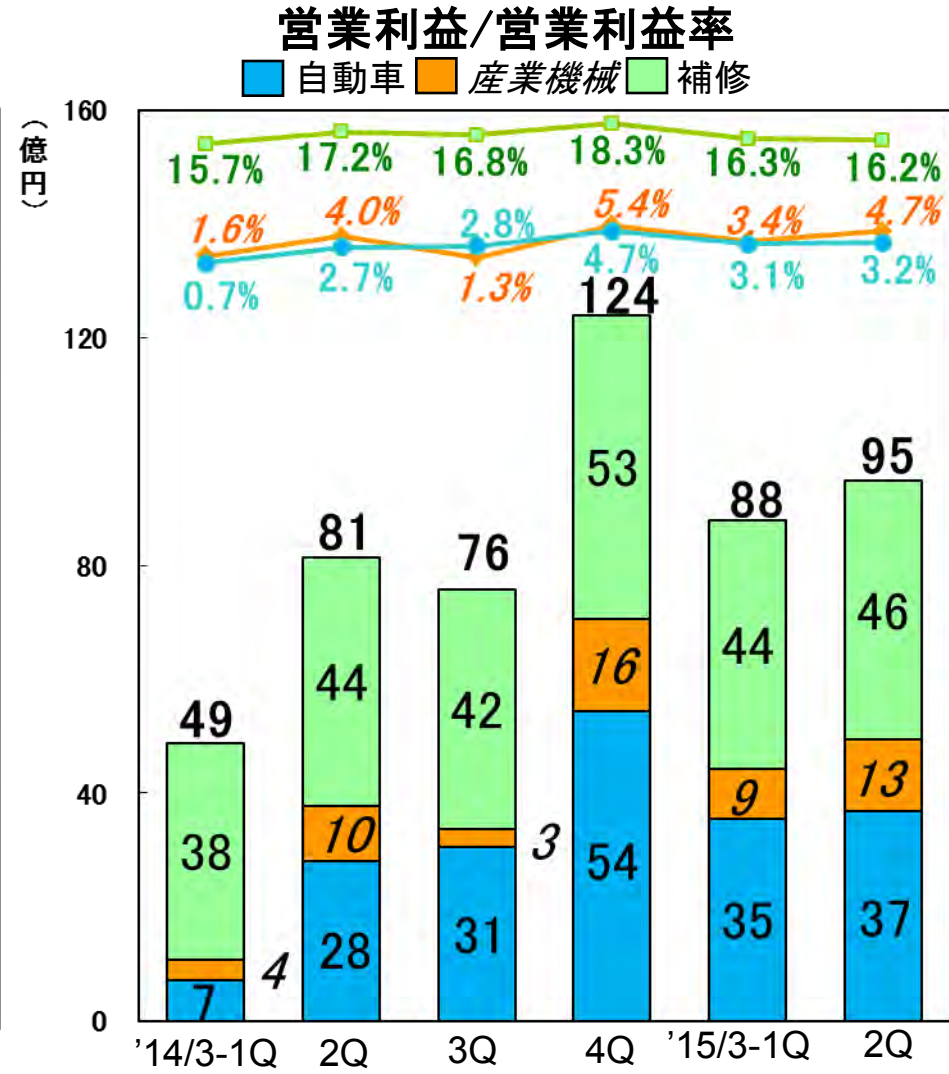
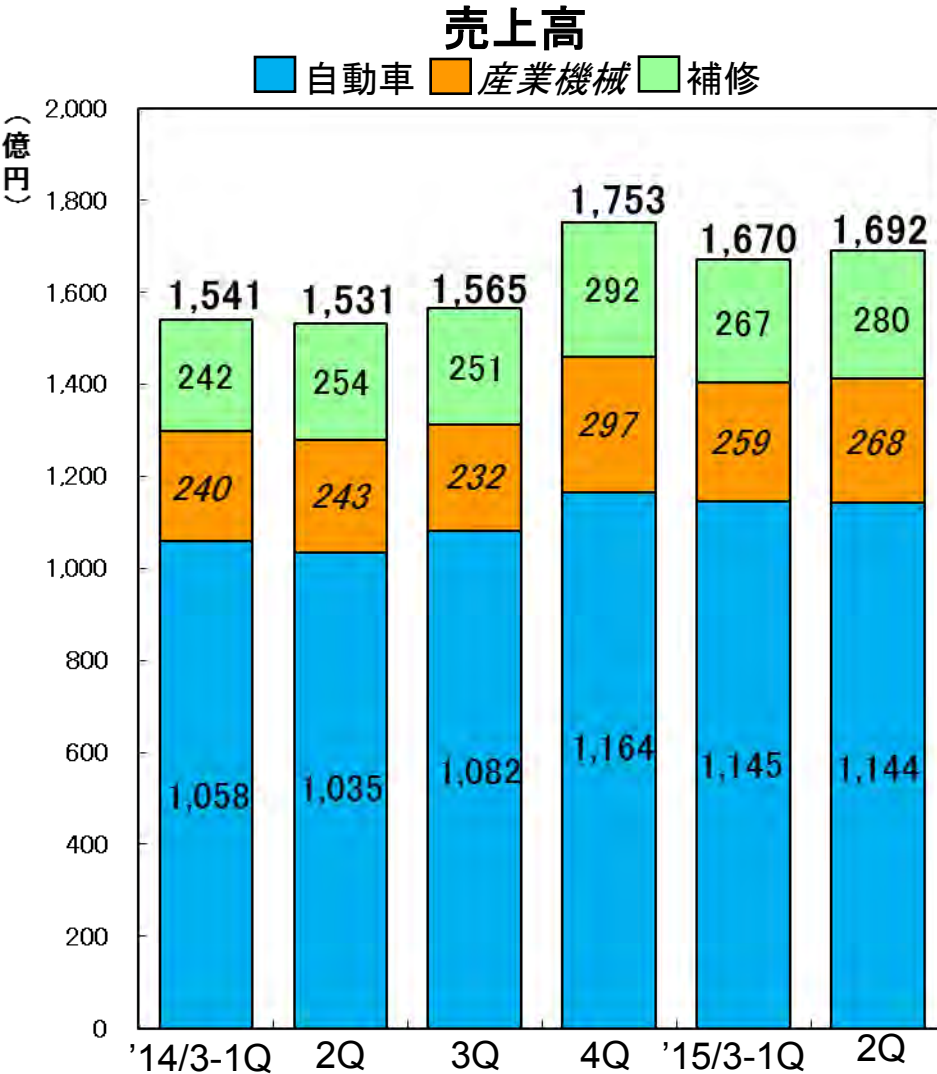
<事業形態別営業利益>

単位：億円

	前期('14年3月期)			今期('15年3月期)		
	上期実績 ①	下期実績	通期実績 ②	上期実績 ③	下期見通し	通期見通し ④
補修	82	96	177	89	103	192
産業機械	14	19	33	21	22	43
自動車	35	85	120	72	113	185
合計	130	200	330	183	237	420

対前期増減	
'15年3月期上期 ③-①	'15年3月期通期 ④-②
7	15
8	10
37	65
52	90

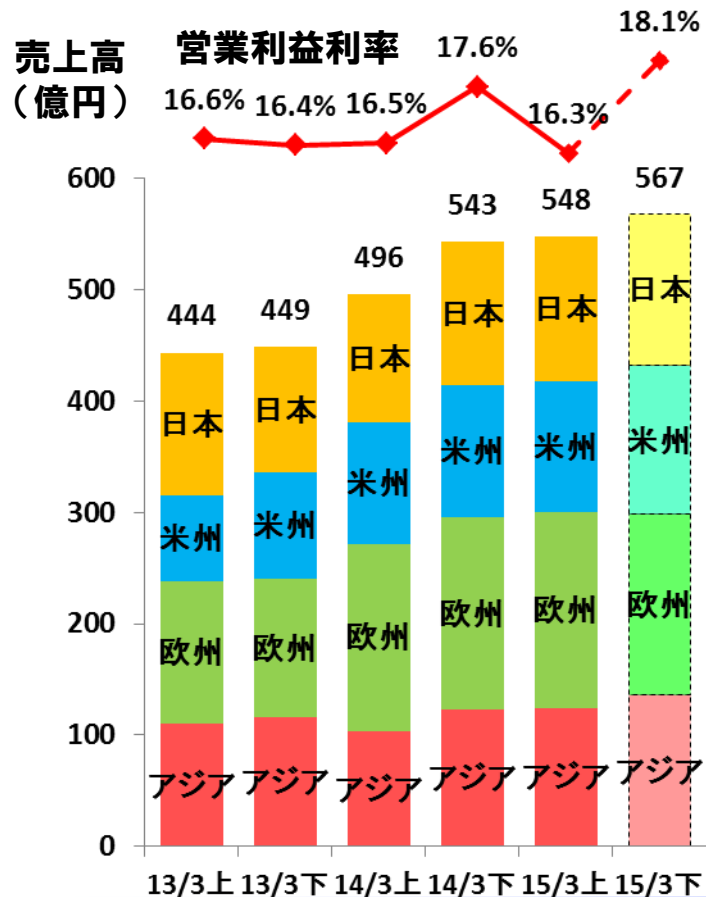
4. 事業形態別業績(四半期推移)



補修市場向けの売上動向

<上期実績（対14/3上期）>

- ・日本は代理店経由工作機・建機向け増。米州は産業機械向け大手代理店と協業で設備補修拡販。自動車向け好調、アジアは中国新営業体制で大手代理店向け増加



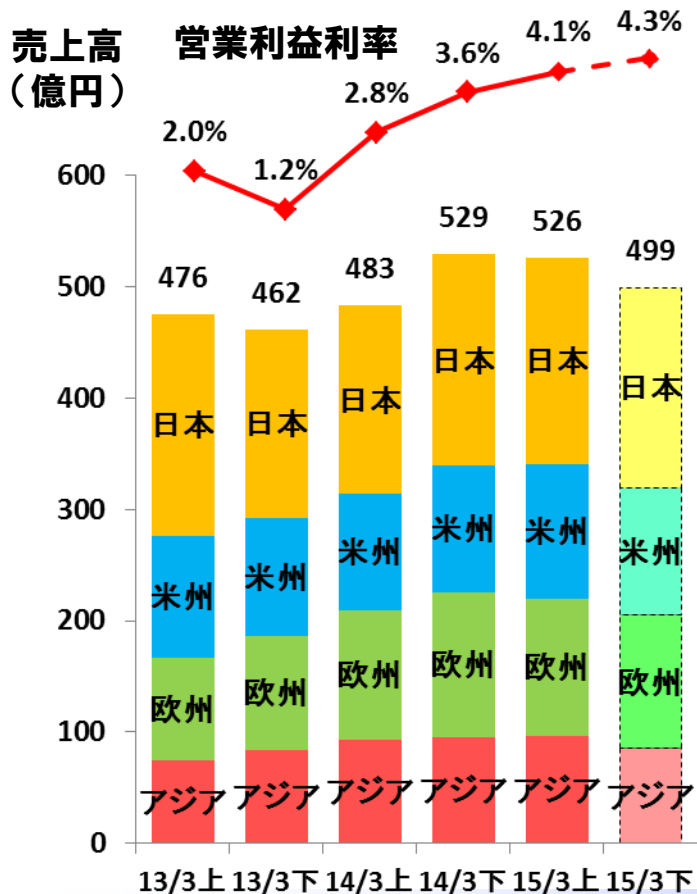
<下期見通し（対15/3上期）>

- 日本** 代理店経由工作機向けの需要回復
代理店と協業でエンドユーザー開拓
- 米州** 大手代理店と協業で設備補修向拡販
自動車向けは品揃えにより販売加速
- 欧州** 販売体制の改編で産業機械向け拡大
東欧の政情不安情勢下でのシェア維持
- アジア** 中国・アセアン共に大手代理店向の
販売増と設備補修向拡販へ取り組む

産業機械向けの売上動向

<上期実績（対14/3上期）>

- ・日本はロボット用減速機向け増。航空機向けや工作機向けも好調
- ・米州は建設機械向け増。中国は鉄道車両向け増。農機は欧米で需要減



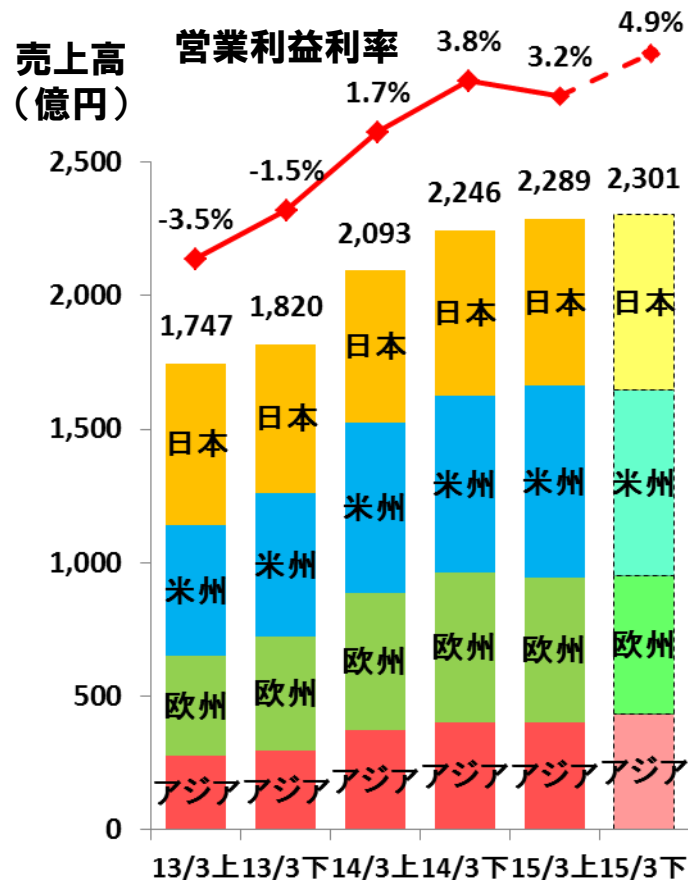
<下期見通し（対15/3上期）>

日本	工作機、航空機の需要は堅調 中国向け建設機械の需要が減少
米州	建設機械向けの需要減少 風力発電は北米の設置台数が減少
欧州	航空機、鉄道車両向けの販売増加 減速機の需要が回復傾向
アジア	中国の風力発電は冬季に需要減少 HDD動圧軸受の上期スポット受注終了

自動車向けの売上動向

<上期実績（対14/3上期）>

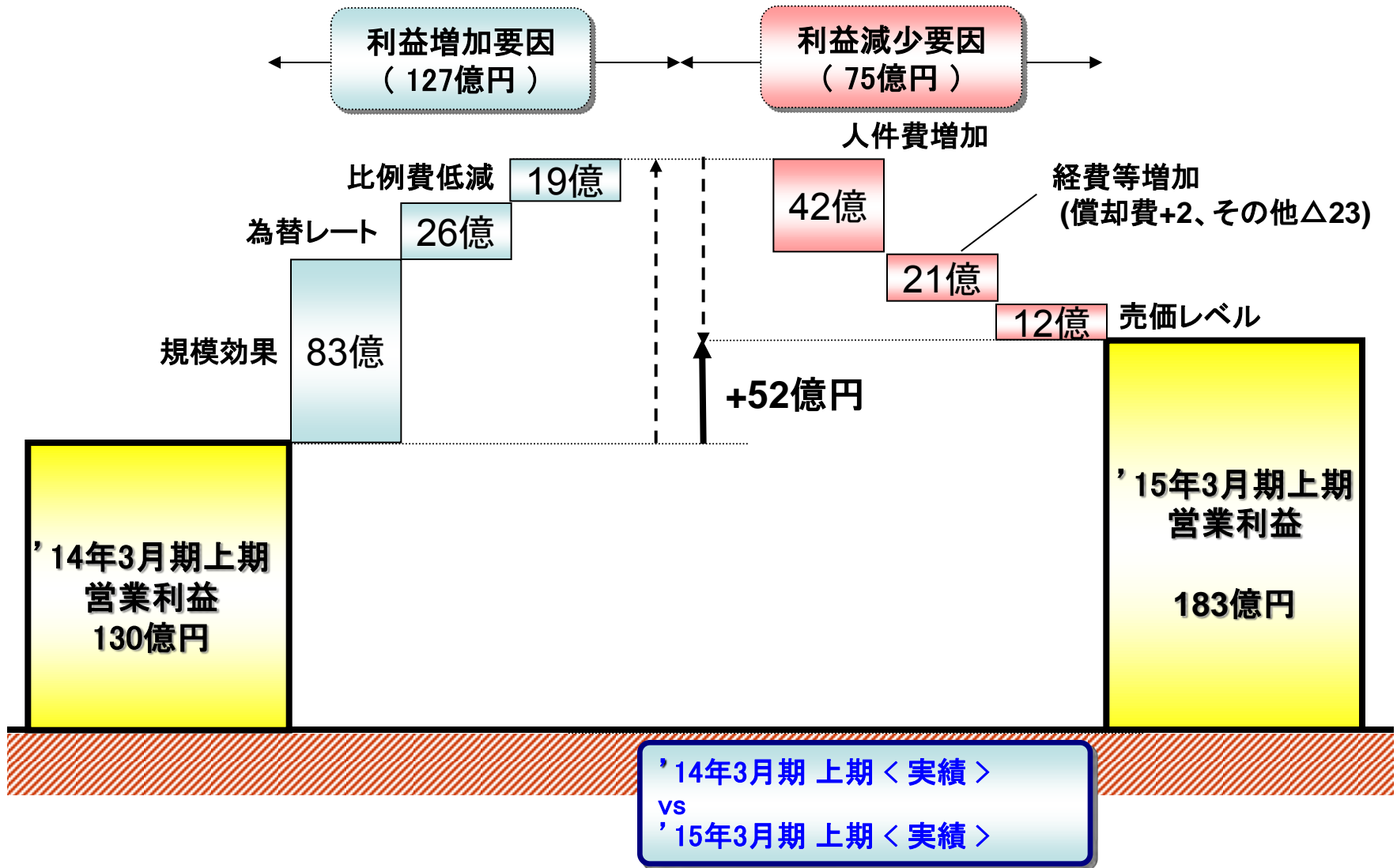
- ・ 日本は消費増税の影響あるも北米向けが好調、新モジュール商品の販売も寄与。
- ・ 新車販売堅調な米国で販売増加。中国では新車販売の伸び以上に増加。



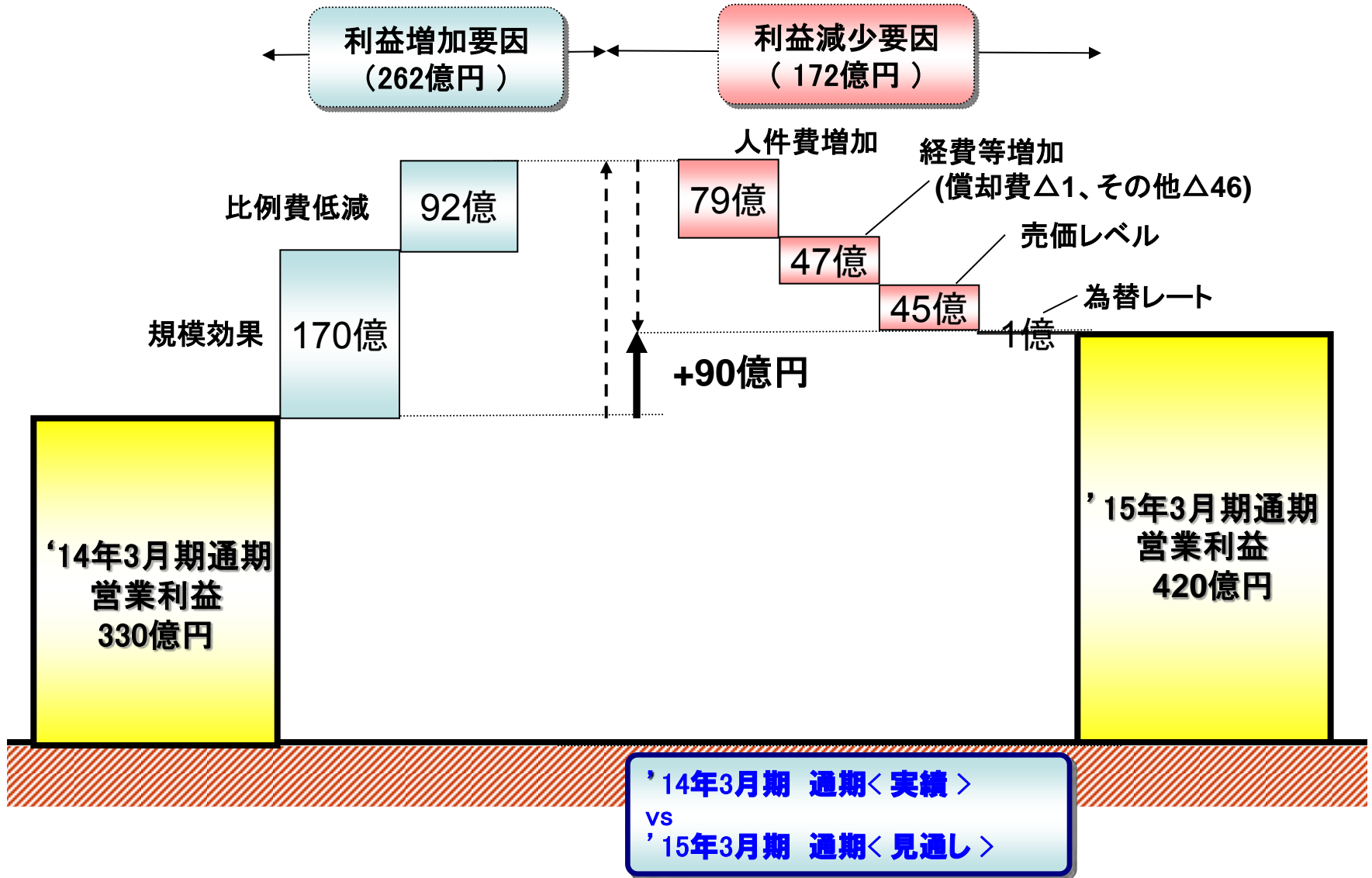
<下期見通し（対15/3上期）>

日本	国内の新車販売は縮小傾向 自動車メーカーの北米向け輸出が堅調
米州	日系メーカー向け販売は増加 米系メーカー向けが減少し横ばい
欧州	欧州の新車販売は回復傾向 欧州メーカー向けの販売が増加
アジア	中国で新型車向けCVJの量産開始 アジアでも新型車向けアクスル量産開始

5. 営業利益増減（ '15年3月期上期 ）



5. 営業利益増減（ ’15年3月期通期 ）



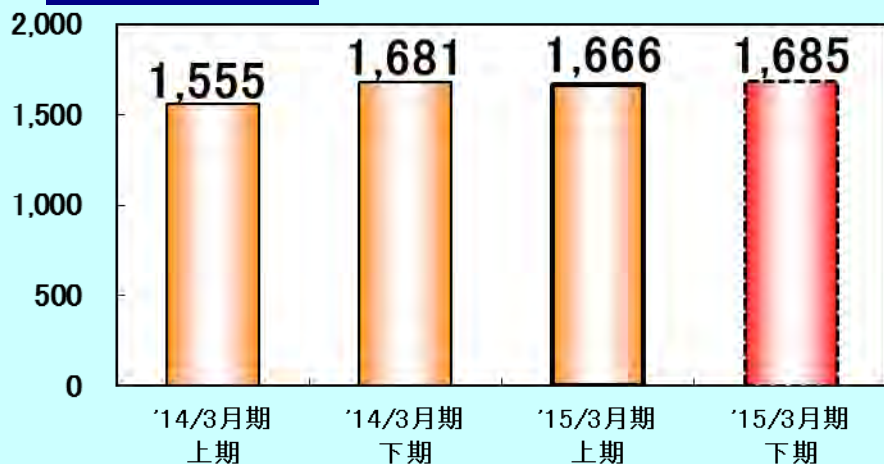
6. 所在地別 売上高・営業利益（日本・米州）

《 日本 》

《 米州 》

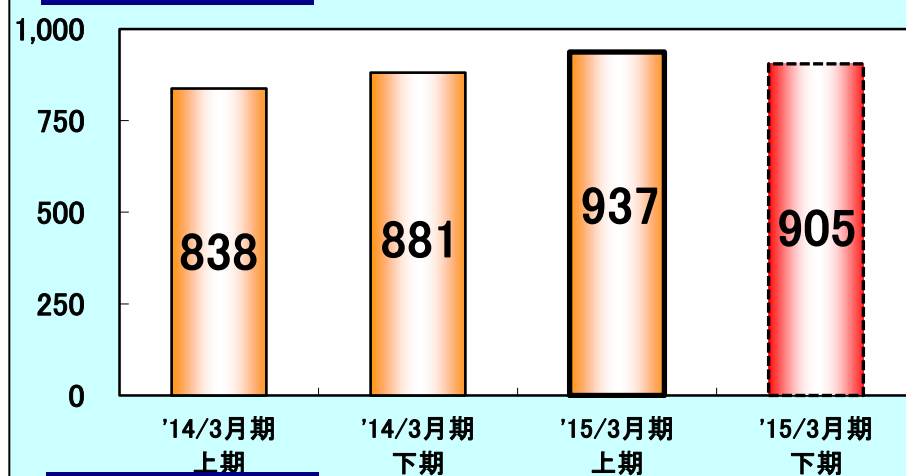
売上高

単位：億円

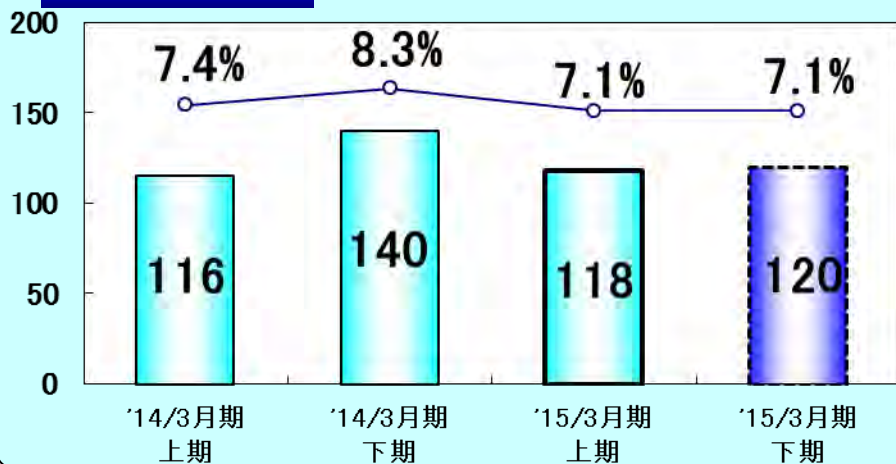


売上高

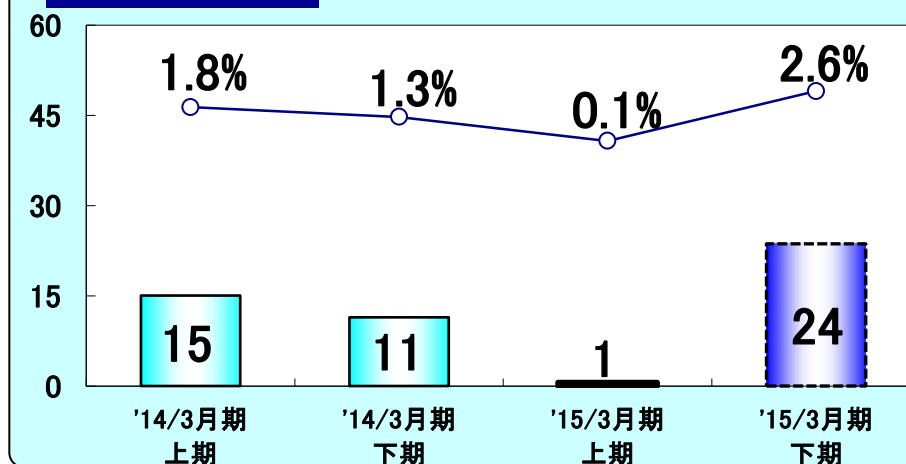
単位：億円



営業利益



営業利益



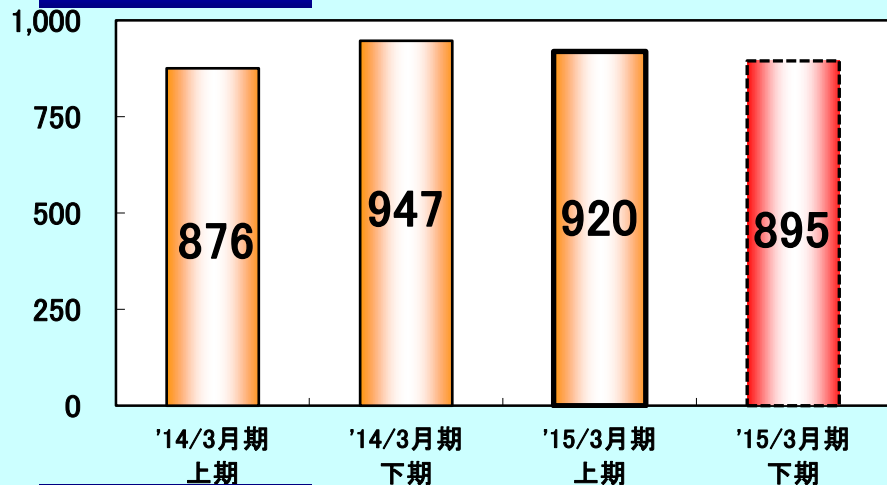
6. 所在地別 売上高・営業利益 (欧州・アジア他)

《 欧州 》

《 アジア他 》

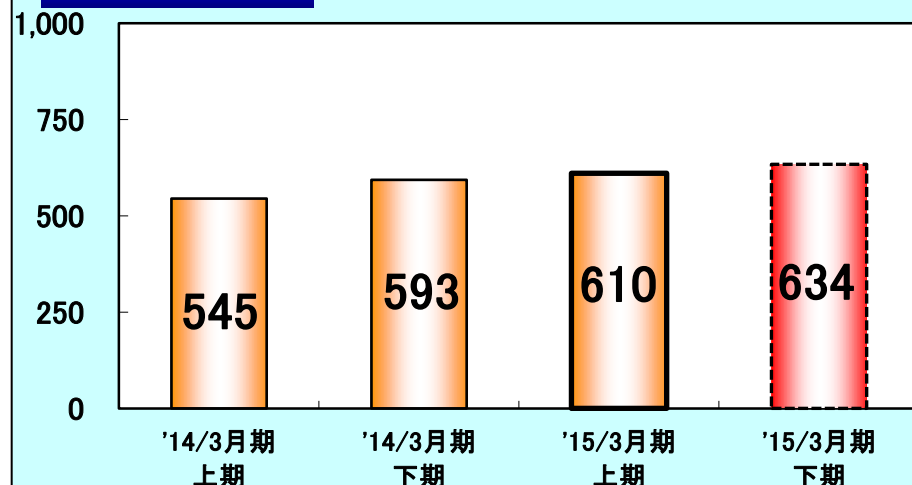
売上高

単位: 億円

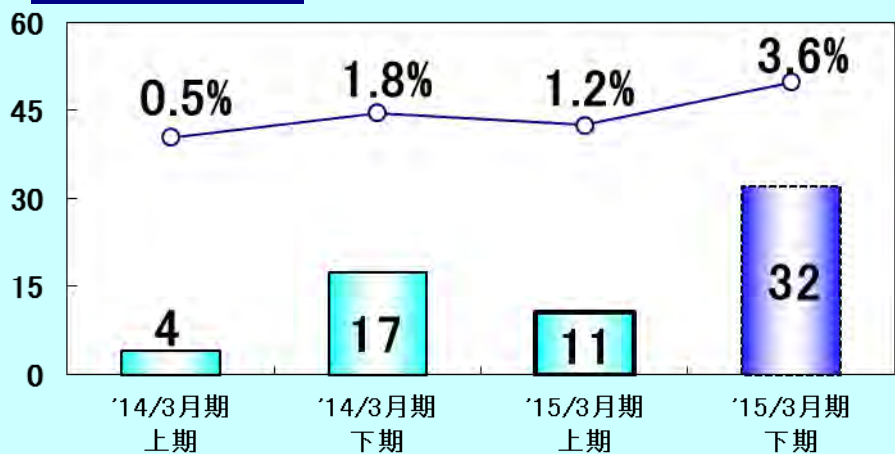


売上高

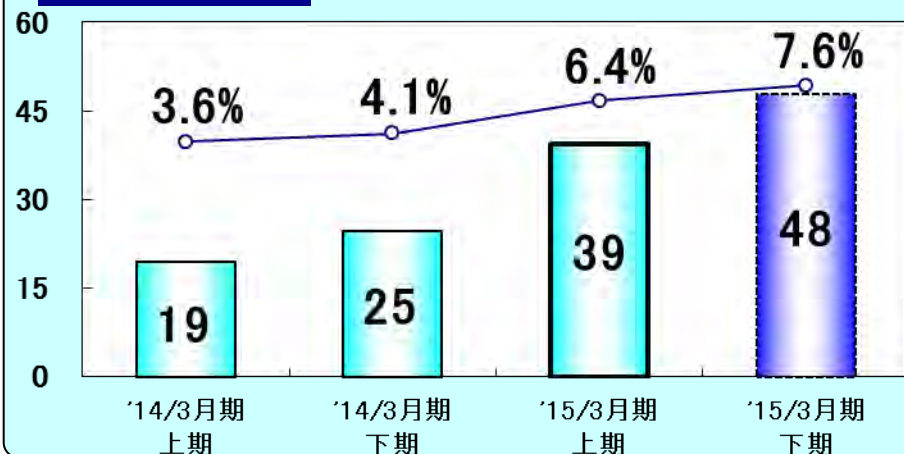
単位: 億円



営業利益

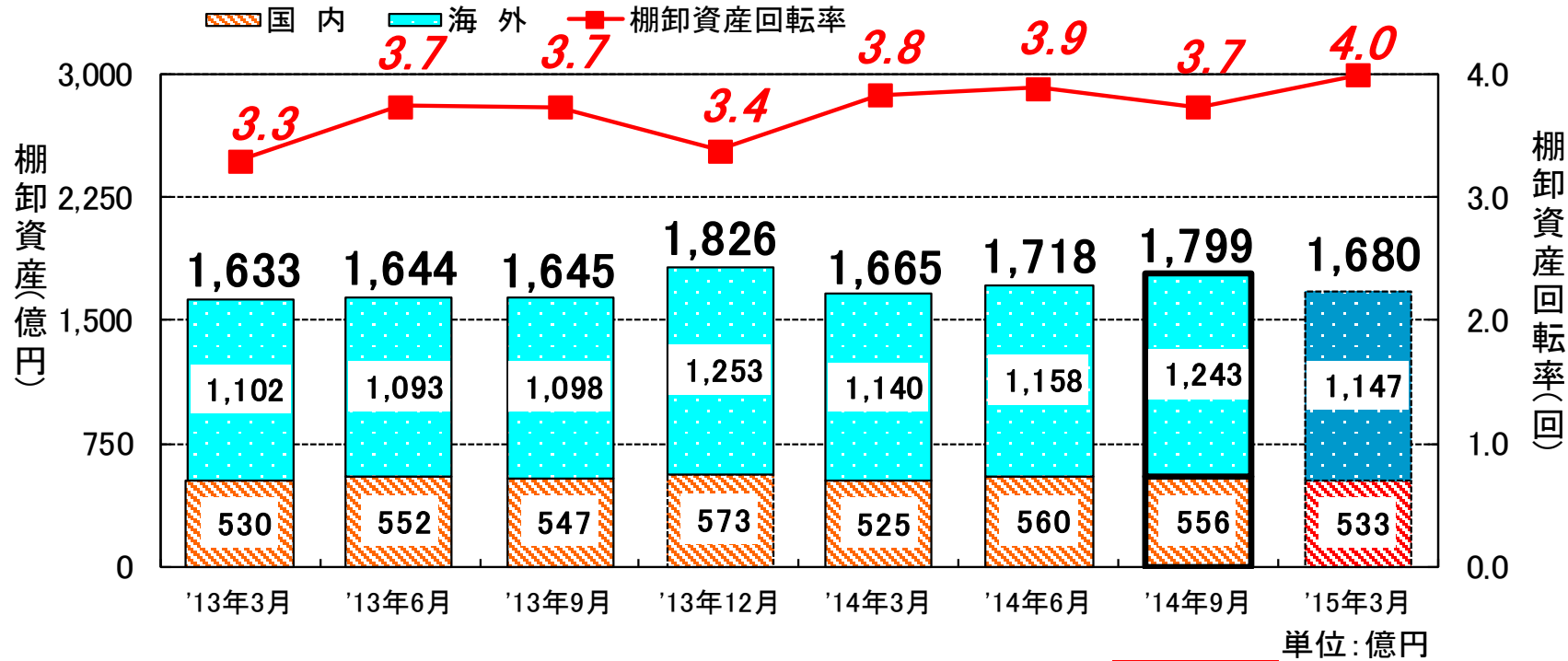


営業利益



7. 棚卸資産

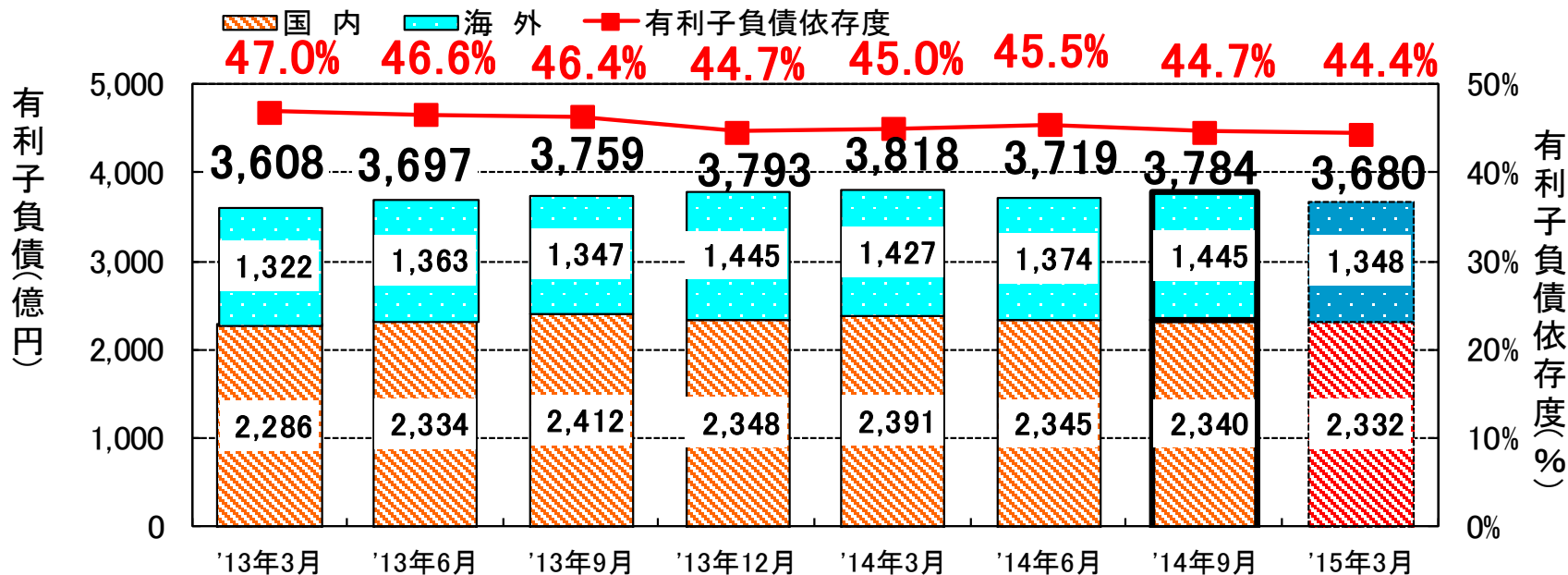
◆ '14年9月末の棚卸資産は、6月末比+81億円増加(除く為替では+25億円増加)。



	'13年3月 実績	'13年6月 実績	'13年9月 実績	'13年12月 実績	'14年3月 実績	'14年6月 実績	'14年9月 実績	'15年3月 見通し
棚卸資産	1,633	1,644	1,645	1,826	1,665	1,718	1,799	1,680
(海外)	(1,102)	(1,093)	(1,098)	(1,253)	(1,140)	(1,158)	(1,243)	(1,147)
(国内)	(530)	(552)	(547)	(573)	(525)	(560)	(556)	(533)
棚卸資産回転率(回)	3.3回	3.7回	3.7回	3.4回	3.8回	3.9回	3.7回	4.0回

8. 有利子負債

◆ '14年9月末の有利子負債は、6月末比+65億円増加(除く為替では△15億円減少)。



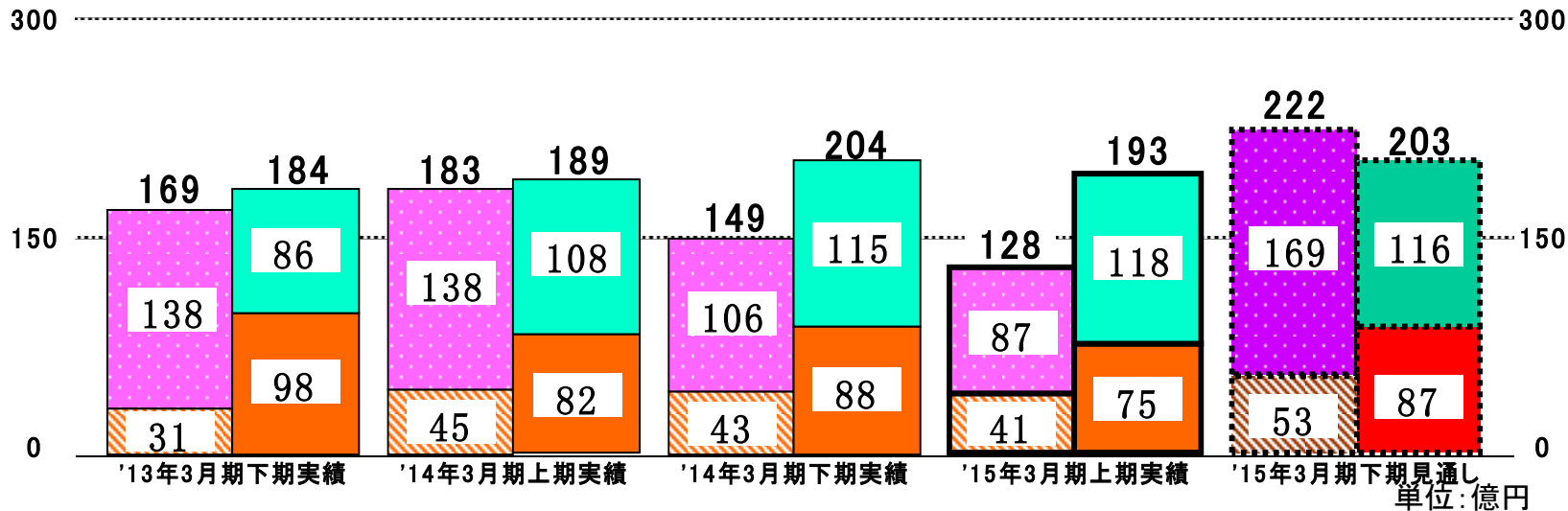
単位: 億円

	'13年3月 実績	'13年6月 実績	'13年9月 実績	'13年12月 実績	'14年3月 実績	'14年6月 実績	'14年9月 実績	'15年3月 見通し
有利子負債	3,608	3,697	3,759	3,793	3,818	3,719	3,784	3,680
(海外)	(1,322)	(1,363)	(1,347)	(1,445)	(1,427)	(1,374)	(1,445)	(1,348)
(国内)	(2,286)	(2,334)	(2,412)	(2,348)	(2,391)	(2,345)	(2,340)	(2,332)
ネット有利子負債	2,747	2,749	2,600	2,633	2,521	2,688	2,673	2,530
有利子負債依存度	47.0%	46.6%	46.4%	44.7%	45.0%	45.5%	44.7%	44.4%

9. 設備投資・減価償却費

◆ '15年3月期上期実績の設備投資は、減価償却費の範囲内。

(単位:億円) 投資(国内) 投資(海外) 償却(国内) 償却(海外)

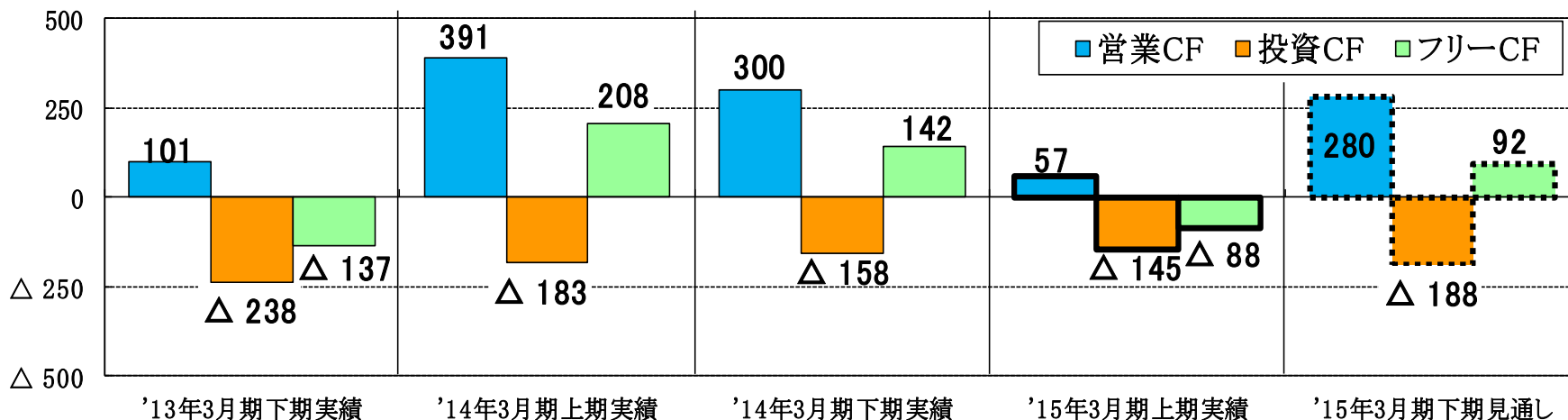


単位:億円

	'13年3月期 下期実績	'14年3月期 上期実績	'14年3月期 下期実績	'15年3月期 上期実績	'15年3月期 下期見通し
設備投資 (海外)	169 (138)	183 (138)	149 (106)	128 (87)	222 (169)
(国内)	(31)	(45)	(43)	(41)	(53)
減価償却費 (海外)	184 (86)	189 (108)	204 (115)	193 (118)	203 (116)
(国内)	(98)	(82)	(88)	(75)	(87)

10. キャッシュ・フロー

(単位:億円)	'13年3月期 下期実績	'14年3月期 上期実績	'14年3月期 下期実績	'15年3月期 上期実績	'15年3月期 下期見通し
I. 営業活動による キャッシュ・フロー	101	391	300	57	280
II. 投資活動による キャッシュ・フロー	△238	△183	△158	△145	△188
III. 財務活動による キャッシュ・フロー	226	81	△15	△98	△22
IV. 現金及び現金同等物 に係る換算差額等	△17	10	10	1	△31
V. 現金及び現金同等物の 増加額	72	298	137	△185	39



We make
Bearings.



For New Technology Network
NTN[®]
NTN株式会社
www.ntn.co.jp